



せせらぎ Se Seragi



漢方のよさ No.160 号 ～ 陰陽虚実 ～

発行日：2021年4月5日(月)

発行者：浮田 徹也

発行所：医療法人 せせらぎ会 浮田クリニック
〒520-0242 滋賀県大津市本堅田 6-36-1
☎077-574-3751 ☎077-574-3792
HP: <http://www.ukita.gr.jp>
✉ e-mail: kanpou@ukita.gr.jp

中国医学の哲学思想は「陰陽五行説」で、「陰陽説」と「五行説」からなる。「陰陽説」は、世の中の物質や現象を「陰」と「陽」の相対する2性質に分けて認識するもので、例えば自然界では、太陽と月、天と地、昼と夜、動と静、雄と雌など、人体では男と女、実と虚、熱と寒、表と裏、上と下、急性と慢性、臓と腑、気と血などに分けられる。陰と陽はクリアに二分されるものではなく、陰の中にも陽があり、陽の中にも陰があり、陰が極まれば陽になり、陽が極まれば陰になる。病気にかかり、闘病反応が強くて熱が高く、症状が激しいのが陽証で、正気と病邪の戦いが盛んな病態と言える。また、正気の病邪に対する闘病反応が弱く、病状が静かなのが陰証と言える。陰陽は病状を指していると考えられる。病気は正気と病邪の抗争と考えられ、正気(闘病力、体力)にも病邪にも虚実がある。

正気が充実し病邪が弱く虚であれば発病しない。正気も病邪も充実している場合は、抗争反応は強く、症状は陽で陽病に分類される。正気が虚で病邪が実なら、闘病反応は弱く、症状は陰で陰病分類され死亡する。陰病ではまず正気を補い陽病にし、その後病邪を瀉す治療をする。正気の実している人でも、コンディションが悪ければ、正気が低下し相対的に病邪が強くなり発病する。食べすぎ、飲みすぎで胃腸を痛める、風呂に入っただただ寝る、寝不足、手術や放射線や抗がん剤などによっても正気が低下するが、正気が回復すれば、相対的に病邪を圧倒し治療する。慢性疾患では正邪の抗争ではなく、自分の体力が弱って(正気が不足)病気になる。正気が充実していれば病的状態にならず、正気が虚している時、発病するので、正気の虚を補わなければならない。

ハロン湾

ベトナム北部、クアンニン省のハロン湾は、石灰岩からなる大小1,600もの島々が奇峰の如くそそり立つ、神秘的な景観はまさに自然の織りなす驚異、水墨画にも似た世界から「海の桂林」とも呼ばれる。1994年、ユネスコから世界自然遺産に指定された。漢字で「下竜湾」と表記される「ハロン湾」。昔、中国からの度重なる侵略に悩まれた時、この地に龍の親子が降り立ち、口から炎を吹いて敵を打ち破り、さらには吹き出した宝玉が数々の奇岩となって海面に突き刺さり、その後も長きに渡って外敵の侵入を防いだ。以降、この地はハ(降りる)ロン(龍)と呼ばれるようになった。ハロン湾の港を出港した船は海に浮かんだ奇石の間を静かに航行。数ある奇石のひとつは、2つの岩がキスしているようにも見える「キッシング・ロック」で「夫婦岩」だ。大きな美しい鍾乳洞のひとつがダウゴー(Dau Go)島の「ティエンクン鍾乳洞」で、ダウゴー島にある鍾乳洞で、天宮を意味する。内部は高さ20m、幅10mほどでさほど広くはないが青や緑などにライトアップされていて幻想的な世界。階段やフットライトで整備され内部は歩きやすい。ユニークな名前がついた鍾乳石や石筍があり、中でもおっぱい岩が美しく触ると御利益があるらしく、岩が黒光りしている。奇岩・鍾乳洞の隙間から、太陽光が差し込む場所は、まさに天宮の洞窟だ。



ティエンクン洞窟



香炉岩



闘鶏岩



症例を示しましょう。

症例1 冷え症 年齢28歳、女性、BMI 19.0。

「月経前頭痛・下腹部痛・膨満感・いろいろ・月経痛、手足冷え」、月経：28日周期 7日間、月経量：普通。第1診 脈：細、遅、沈、弱。舌：暗赤色・無苔・舌尖に紅点。腹証：腹力弱、皮膚乾燥、胸脇苦満軽度、両側腹直筋緊張、臍傍抵抗圧痛より、虚証、少陽、瘀血、血虚と診断して、四逆散+四物湯+桂枝茯苓丸+サフラン」を処方。第2診 服薬4週間後、月経痛、月経前頭痛・イライラ・膨満感が軽減。第3診 服薬8週間後手足冷えも改善。1年服薬して症状なくなり廃薬。

症例2 蕁麻疹 年齢32歳、女性、BMI 21.0。

「毎年5月頃から秋まで、顔面、特に目の周囲に蕁麻疹で悩む」、月経：30日周期 7日間、月経量：普通。第1診 脈：細、緩、浮、舌：淡紅色、薄白苔。腹証：腹力中程度、皮膚乾燥、胸脇苦満軽度、両側腹直筋軽度緊張、臍傍抵抗圧痛より、虚証、少陽、血熱と診断して、梔子柏皮湯+滋陰降火湯を処方。第2診 服薬4週間後、目の周囲に蕁麻疹がやや減少第3診 服薬8週間後目の周囲に蕁麻疹は消失。1年服薬して症状なくなり廃薬。翌年は5月になっても蕁麻疹は生じなかった。

症例3 夏風邪 年齢35歳、女性、BMI 23.0。

「夏になると腰痛、下痢、倦怠感を自覚しやすく、2週間に1回、鼻水、喉痛、食欲低下を自覚する」、月経：27日周期 7日間、月経量：普通。第1診 脈：細、遅、沈、弱。舌：淡暗赤色・薄白苔。腹証：腹力弱、皮膚乾燥、心下痞、胃内停水、臍上悸、臍傍抵抗圧痛より、虚証、寒症、痰飲、血虚と診断して、五積散を処方。第2診 服薬4週間後、下痢が減り、風邪症状を自覚しなかった。第3診 服薬8週間後腰痛もなくなった。1年服薬して症状なくなり廃薬。

[院長]

月 経 前 緊 張 症

月経前3日～10日に、いろいろ、のぼせ、下腹部膨満感、下腹部痛、腰痛、憂鬱、落ち着かない、頭痛、めまい、乳房痛、はきけ、むくみ(顔、手足)、皮膚症状、関節痛などをいつも感じていませんか。でも、月経が終わると症状が消えませんか。このような方の治療には漢方薬が適しています。体と心の不調を改善することができます。何か病気が隠されていないか血液や尿検査、超音波検査などを受けて安心することも大切です。心身の疲労を軽減する目的で胎盤成分を利用した「プラセンタ治療」も体に優しい治療です。また、ホルモンバランスが乱れた方はピルで排卵抑制する治療も有効です。



蕁 麻疹

蕁麻疹は、食物、薬剤、日光、刺激(雑草、虫、髪の毛、金属)、寒冷、発汗、圧迫、感染(慢性扁桃腺炎、胃潰瘍(ヘリコバクターピロリ)、疲労、睡眠不足などの原因で急速に出現する皮膚の中のむくみです。じんましんが出たときには「何をしていた時に発症したのか」「どのような状況で発症したのか」「何を食べた時に発症したのか」を自分でよく考えることも大切です。抗ヒスタミン剤、抗アレルギー剤、副腎皮質ホルモンだけでなく、漢方薬も有効な治療薬です。



膀 胱 炎

急性膀胱炎の主な症状は頻尿、排尿痛、残尿感で、特に排尿が終わる頃の痛みがはなはだしく、ひどい時は、発熱します。尿も濃く、濁ってきます。昔は、白濁と呼ばれていました。通常、抗生物質で、3～5日ぐらいで主な症状は消失します。冷えや過労、長時間排尿をがまんしたことや糖尿病による慢性膀胱、前立腺肥大などによる下部尿路通過障害、神経因性膀胱(膀胱および尿道を支配している知覚・運動神経がおかされ、排尿機能が異常になる)、尿路結石などの複雑性膀胱炎もあります。冷えによる頻尿は寒くなると膀胱が拡張しにくくなって、頻尿に尿意を感じやすくなることが原因です。神経性頻尿は、精神的な緊張や感情的な興奮によって、膀胱の緊張が高まるために起こります。東洋医学の治療は、急性・慢性、いずれの膀胱炎の治療にも効果を発揮します。



神農本草經

「黄帝内経」や「張仲景方」と共に漢方の3大古典の一の本書は薬物学書で個々の生薬について解説してある。また、「伏羲」や「黄帝」と共に3皇と称せられる「神農」の名前を冠している。後漢時代の1～2世紀に成立したと思われる。本書には365種類の生薬が収載され、上品、中品、下品に分類されている。上品は「天」に相当し、君薬として命を養い、副作用がないので長期服用可能である。中品は「人」に相当し、臣薬として病気を予防し体力を補うので、副作用の程度により適宜配合して用いる。下品は「地」に相当し、佐使として病気を治療できるので、副作用が多く長期服用はできない。



当院の漢方治療

剤型

- ・エキス漢方薬 :錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。軽症・中程度の病気の治療に処方します。
- ・漢方煎じ薬 :良質の生薬を組み合わせた漢方薬。20～30分煮て作ります。当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫(冷凍庫)で保管して下さい。重症の病気、エキス剤が無効な場合に処方します。
- ・漢方入浴剤 :アトピーの方の入浴剤もお作りします。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害…など凡ての症状。

当院漢方治療の疾患

全身症状	全身倦怠感、冷え症、むくみ、頭痛、食欲不振、めまい、微熱、夏まけ
産科・婦人科疾患	不妊症、更年期障害、月経前症候群、生理痛、子宮筋腫、子宮内膜症
	月経不順、妊娠中諸症状(感冒、下腹部痛、便秘、下痢、むくみなど)
皮膚疾患	アトピー皮膚炎、にきび、尋常性乾癬
アレルギー疾患	アレルギー性鼻炎、蕁麻疹
消化器疾患	便秘、下痢、慢性胃炎、神経性胃炎、過敏性腸症候群、潰瘍性大腸炎
	機能性胃腸症、逆流性食道炎、痔
代謝・免疫疾患	慢性関節リウマチ、肥満、糖尿病
呼吸器疾患	慢性気管支炎、気管支喘息、感冒、インフルエンザ
腎泌尿器疾患	膀胱炎、頻尿、夜尿症
整形外科疾患	腰痛、肩こり、神経痛、変形性膝関節症
心疾患	高血圧、不整脈
心身医学的疾患	自律神経失調症、うつ病、不眠
	脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用後倦怠感
後遺症・副作用	抗癌剤使用時副作用

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、痰、膣分泌物、心電図、骨量測定……)などを利用して、漢方薬を決めます。

漢方予約外来

漢方専門医(兼漢方専門医指導医)に本格的な漢方治療を希望される方のための「漢方予約外来」です。
ご希望の方は当院受付又はお電話で診療時間内に予約してください。
診療日時：毎週金曜日午後2時～3時20分、一人20分。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は早急に受付に連絡して下さい。

ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp>)

- ・トップページ (お知らせの欄、診療日程カレンダー)
- ・産科と婦人科のページ (入院、食事、各種教室、指導)
(癌検診、不妊症、更年期障害)
- ・漢方治療のページ (漢方治療)
- ・各検診と予防接種のページ (健診、ブライダルチェック、予防接種)
- ・当院の施設案内、当院への交通 (車、ＪＲ)

外来用診療時間	月	火	水	木	金	土
午前診療（9:00～12:30）						
妊婦健診(予約)	恵Dr.	恵Dr.	副院長	山口Dr.	副院長	副院長
産科・婦人科	院長 美里Dr.	院長 山口Dr.	院長 美里Dr.	院長 恵/村上Dr.	院長 恵Dr.	院長
	☆副院長	☆副院長	☆恵Dr.	☆副院長/恵Dr.	☆山口Dr.	女性Dr.(交代)
リプロダクション	祐司Dr.	祐司Dr.	祐司Dr.	祐司Dr.	祐司Dr.	祐司Dr.
		美里Dr.		美里Dr.		
漢方科	院長	院長	院長	院長	院長	院長
予防接種・胎児スクリーニング・漢方予約外来・予約外来・乳児健診（14:00～16:00）						
胎児精密外来	副院長	—	副院長	—	—	—
予約外来	—	—	山口Dr.	山口Dr.	恵Dr.	—
漢方予約外来	—	—	—	—	院長	—
予防接種	院長	—	院長	—	—	—
乳児健診	—	城山Dr.	—	—	—	—
午後診療（16:30～19:00）						
妊婦健診(予約)	副院長	—	副院長	—	恵Dr.	—
産科・婦人科	院長 副院長	—	副院長	—	院長	—
	広田/恵Dr.		山口Dr.		恵Dr.	
リプロダクション	祐司Dr.	祐司Dr.	院長	祐司Dr.	祐司Dr.	—
漢方科	院長	—	—	—	院長	—

- ◇ 院長：浮田徹也、副院長：浮田真吾、恵Dr.：浮田恵、祐司Dr.：浮田祐司、美里Dr.：浮田美里、山口Dr.：山口菜津子、城山Dr.：城山照貴、村上Dr.：村上優美、広田Dr.：広田千絵、永易Dr.：永易洋子
- ◇ 土曜日：女性医師(交代)は永易Dr.、安田Dr.
- ◇ 広田Dr.の外来は、恵Dr.または美里Dr.に変更になる場合があります。
- ◇ ☆は病棟医と兼任のため病棟での分娩、処置が優先となります。外来診療にも当たりますが待ち時間が長くなる場合があります。

■ 女性医師外来：
毎日対応します。

■ 予約外来：
水・木・金 14:00～16:00 コルポスコピー検査、出生前診断外来、術前説明、検査結果説明等。予約制での外来。

■ 漢方専門医の漢方外来(月～土)：
内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科など全科領域に対して、日本東洋医学会漢方専門医が診察及び東洋医学の治療をします。来院順に診察します。予約外来ではありません。毎週金曜日「漢方予約外来(14:00～15:20)」を院長が担当します。当院は、日本東洋医学会漢方専門医研修施設に指定されています。

■ 産後母子健診：
火曜日・木曜日・土曜日：9:00～予約制 お一人様60分 当院退院後5日目の赤ちゃんとお母さんの状態の診察と保健指導を行います。

■ 乳児健診：
毎週火曜日には、しろやま赤ちゃんこどもクリニック 城山医師による1ヶ月健診を行います。毎週水曜日は、院長による乳児健診を行います。

■ 胎児精密超音波外来(初期・中期)：
月・水 13:30～15:00 予約制 NT測定のみ5000円、コンバインドテスト30000円、NT/NB/DV/TRソフトマーカー計測 20000円。

■ 予防接種ワクチン接種外来：
インフルエンザ、BCG、四種混合(DPT-IPV)、麻しん・風しん(MR)、日本脳炎、水ぼうそう、ポリオ、ロタウイルス、おたふくかぜ、Hib(インフルエンザ菌b型)、肺炎球菌ワクチン(小児用 プレベナー)(高齢者)、子宮頸癌予防ワクチン、その他

■ 母乳外来(電話予約制)：
退院した後のママと赤ちゃんの母乳相談や育児相談をプロの助産師がサポートします。授乳や赤ちゃんの体重の増え方、ミルクの飲み具合等について何でもご相談下さい。当院で出産された方 3000円 他院で出産された方 4500円。

■ 更年期外来(月～土 午前診／午後診)：
漢方薬やホルモン剤やプラセンタ等による総合的な診察を行います。

■ 日本抗加齢学会専門医のアンチエイジング外来(月～土)：
更年期障害、産後乳汁分泌不全の場合は、健康保険での保険診療。その他のアンチエイジングの場合は、自費診療となります。プラセンタ注射、プラセンタ内服薬やドリンク剤等取り揃えております。その他、各種プラセンタ化粧品もありますのでご相談下さい。日本抗加齢学会専門医が対応します。

■ 助産師外来(月～土)：
前期：妊娠20週頃 後期：34週～36週頃
皆さんお一人、お一人と触れ合いながら、前期は30分、後期は45分程度の時間（予約制）をかけ、「自分らしい」妊娠・出産・育児を創りあげていけるようバースプランに沿った支援を心がけます。母乳育児にそなえておっぱいの手入れの方法もお話します。前期は無料、後期は妊婦健診補助券を利用します。（ただし、大津市以外の方は差額をお支払い頂く場合があります。）

■ 育児サポート外来：
育児に不安のある方。月午後、水、金。予約制。